

日本種苗新聞

株式会社 日本種苗新聞
 発行所 〒400-0047 甲府市徳行4-14-22
 電話 055-235-7329
 FAX 055-237-5751
 振替 00460-8-358
 E-mail info@seed-news.co.jp

九州産野菜の振興へ

青果育種研 福岡で見本市

新品種・新商材の商談展開

青果育種研究会(会長・宮本修東京青果専務取締役)は昨年12月1日、福岡市中央卸売市場・福岡大同青果で第141回品種見本市を開いた。宮本会長は、この見本市が九州地域で初となることを踏まえ今後、同地域での青果物の生産振興と、東

京青果での取扱量の伸張に向けて努力することの方針を明らかにした。

講演に立った福岡市園芸振興協議会中村光明

会長は、率いる生産法人・光明コーポレーションの成り立ちから説き始

め、利益を生み出すための運営方法などを披露し

た。

見本市への出展社は15社。合わせて74品種が出品された。加えて福岡市園芸振興協議会が、地元

15社が74品種出品

見本市への出展社は15

社。合わせて74品種が出

品された。加えて福岡市

園芸振興協議会が、地元

の地域野菜・伝統野菜を
展示した。

出展した福岡・中原採
種場、長崎・八江農芸は



にぎわう九州地域初の品種見本市

― 自社育成品種を並べて展
示。中原採種場は、水耕
栽培用のミニプラントも
展示した。

タキイ種苗、サカタの
タネ、トキタ種苗、みか
ど協和なども出展したほ
か、単品種の育成に取り
組むキュウリのときわ研
究場、ブラシカ類専門の
増田採種場、プロッコリ
ーのナコスなども、それ
ぞれ出品して、存在感を
示した。

九州各地から参集

― 参集したのは九州各地
の卸売業者、北九州圏内
の種苗関係者と、生産者
たち。いずれも通常扱っ
ていない新品種、新商材を
見つけようと真剣なもの
の。生産者たちは、それ
ぞれの圃場の土性などを
説明。出展業者と、土性
に合う品種について相談
する姿が目立った。